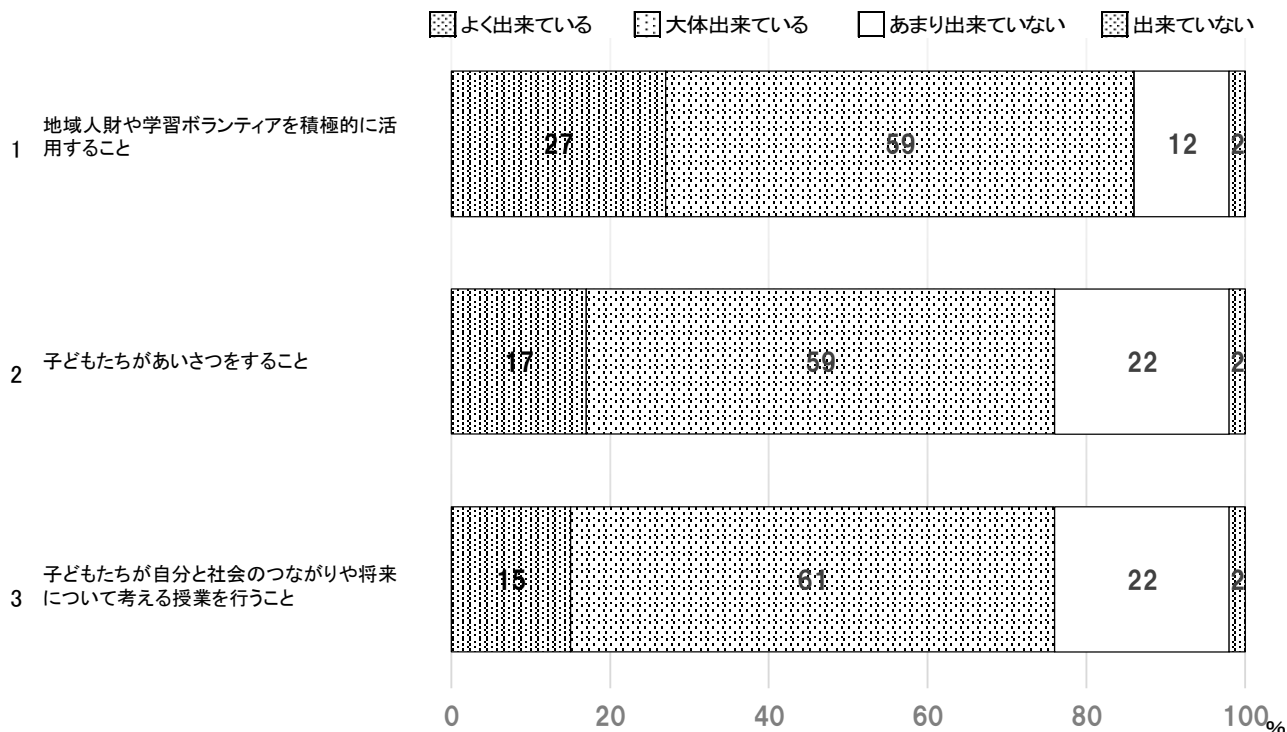


令和2年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

【三鷹中央学園】

アンケート実施日	: 令和2年10月28日～11月5日
アンケート対象者	: 三鷹中央学園(三小・七小・四中)保護者
回収率	: 884世帯/913世帯(96.8%)



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

本年度から学園にかかわるアンケート項目を精選し3項目としました。本年度はコロナ禍による影響もありましたが、新しい生活様式に基づいたあいさつ運動を進めてきた結果、肯定的回答の割合が、2「子どもたちがあいさつをすること」で3%増となりました。下学年ほど自発的なあいさつが少ない傾向があり、地域の方からもご指摘があることから、引き続き、家庭とも連携して改善に努めます。

また、1「地域人材や学習ボランティアを積極的に活用すること」は5%減、3「子どもたちが自分と社会のつながりや将来について考える授業を行うこと」は3%減であった。臨時休校を経て、教育活動や学校公開が限られた範囲での実施となる中、児童・生徒・教員・学習ボランティアなど教育活動にかかわる全ての人の健康と安全を守りながら、地域の人材を活用した教育活動の充実に努めてきました。コロナ禍による影響が解消されるようになるのに伴って、徐々に平常時の状態に戻していけるように準備していきます。

課題

否定的回答の割合が20%を超える、2「子どもたちがあいさつをすること」、3「子どもたちが自分と社会のつながりや将来について考える授業を行うこと」について、取り組み方を工夫するとともに、家庭と地域の協力を得ながら改善していきます。

特に、2に関しては、あいさつは日常生活の基本であることから、各家庭でのあいさつの励行を進めるとともに、引き続き、学園と地域の連携による「あいさつ運動」の充実に努めてまいります。また、3に関しては、各教科や総合的な学習の時間等でキャリア教育に繋がる学習の充実と保護者への広報を引き続き、徹底していきます。

さらには、CS委員会のみならず、児童・生徒、教員、保護者・地域との熟議を通して、実行可能な行動指針としてのパワーアップアクションプランの内容を見直し、児童・生徒の健やかな成長に活かしてまいります。